

## マーケットの動き（2022年5月9日～5月13日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利はほぼ横ばいとなりました。週初、米国長期金利が高水準を付けたことを受け国内金利も上昇しましたが、その後は米国で買戻しの動きが強まると国内金利も追随する形で金利低下に転じ、前週末と同水準で週を終えました。クレジット市場は、利回り差もほぼ横ばいと目立った動きはみられませんでした。

## 投資環境見通し（2022年5月）

## 国内長期金利はレンジ内での動き

国内長期金利は、海外長期金利の動向に加えて、将来の日銀の金融政策変更に対する思惑などから、変動率が高まる可能性があります。しかし、日銀は「連続指値オペ」に関して毎営業日実施することを決定し、改めて金融緩和姿勢を強く示しており、長期金利は当面はレンジ内での動きになるとみています。

	5月13日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	0.24	▲0.00	0.00	0.17	0.15
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	379.61	0.15%	▲0.03%	▲1.94%	▲1.73%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202205\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202205_outlook.pdf)

## 日本国債利回りの推移



## NOMURA-BPI総合指数の推移



※2021年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>